

# 第11回 あいち有機農業フォーラム 2023

2024年2月7日(水)  
ウィルあいち 大会議室  
(定員 150名・先着順)

13:00~16:30  
(12:30受付開始)

※事前申込制

申込方法は裏面→

愛知県名古屋市東区上堅杉町1番地  
(地下鉄名城線「名古屋城」駅2番出口徒歩約8分)

共催

あいち有機農業推進ネットワーク・愛知県

後援

農林水産省東海農政局

協賛

(公財)自然農法国際研究開発センター、(特非)秀明自然農法ネットワーク、  
(一社)MOA 自然農法文化事業団中部支所、オーガニックファーマーズ名古屋、  
豊橋有機農業の会 [順不同]

参加費

1,000円

(税込)

【プログラム】

基調講演

小口広太氏(千葉商科大学准教授)  
「有機農業 これまで・これから」

現場報告

生産者・流通・支援団体・行政など、第一線で有機農業に関わる7名の皆さまより、有機農業への取り組みの現状や課題など、ご報告いただきます。

種子交換会

有機農家同士のネットワーキングを兼ねて種子交換会を実施します。  
※種苗法等の確認が必要なため、種子の提供は事前申し込み制です。

# あいち有機農業推進ネットワーク・愛知県共催 第11回 あいち有機農業フォーラム 2023

プログラム & スケジュール ※登壇者と演題は予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

基調講演にて昨今の有機農業を取り巻く環境の変化から最新のトレンドやトピックスまでを概観したのち、生産、流通、消費者などさまざまな立場で有機農業及び有機農産物の普及・推進に関わる実践者から報告をいただき、これからの有機農業のあり方について会場の皆さんも一緒に考えていきましょう。

開演 13:00～（開場 12:30～）

## 「有機農業 これまで・これから」

基調講演  
13:05～  
13:55

### ●小口広太氏(千葉商科大学人間社会学部准教授)

1983年、長野県塩尻市生まれ。日本農業経営大学校を経て2021年より現職。専門は地域社会学、食と農の社会学。有機農業や都市農業の動向に着目し、フィールドワークに取り組んでいる。主な著書に『有機農業：これまで・これから』（創森社、2023年、近刊）、『日本の食と農の未来』（光文社新書、2021年）、共著に『有機給食スタートブック』（農山漁村文化協会、2023年）などがある。



## 有機農業の現場から

現場報告  
(前半)

有機農業を推進する行政、有機農業の実践者、有機農産物の販売者など、有機農業に関わり、それらを取り巻く各ステークホルダーが、それぞれの立場、視点から、現状の課題や今後の有機農業のあり方に向けたメッセージを送る。

- ①「愛知県の有機農業の現状と方向性」  
愛知県農業水産局
- ②「オーガニックビレッジの挑戦」  
愛知県東郷町
- ③「有機給食への実現」  
長谷川泰幸氏（NPO法人ゆうきハートネット／千空農園）

13:55～  
14:40

休憩 ※種子交換会およびネットワーキング(種子交換会詳細は別紙参照)

現場報告  
(後半)

- ④「新規有機就農者の苦悩と恍惚」  
杉山修一氏(おおぶニックのWA代表／つむぎて農園)
- ⑤「有機農業の持つ影響力と可能性」  
松沢政満氏(あいち有機農業推進ネットワーク代表)
- ⑥「農業と福祉の関係」  
磯部竜太氏(一般社団法人 農福連携自然栽培パーティ全国協議会理事長／社会福祉法人無門福祉会事務局長)
- ⑦「有機農産物への期待と課題」  
大宮隆博氏(生活協同組合連合会アイチョイス理事長)

15:00～  
16:00

質疑応答・まとめ（16:30終了予定）

申込は  
コチラ

## 申込方法

下記URLよりまた右記QRコードよりお申込みください。  
<https://forms.gle/Wb4UxdaJwVQDWVi27>



または、あいち有機農業推進ネットワーク事務局まで、  
メールまたはFAXにてお申込みください。

お名前 :

ご住所 :

ご連絡先TELまたはメール :

## (会場) ウィルあいち 大会議室

愛知県名古屋  
市東区上笠杉  
町1番地  
(地下鉄名城線  
「名古屋城」駅  
2番出口より東  
へ徒歩約8分)



## (お問合せ)

あいち有機農業推進ネットワーク 事務局  
Tel :052-936-5596  
FAX:052-936-5618  
mail: aichiorganicnetwork@gmail.com